

令和4年度 市川市自殺対策関係機関連絡会

次 第

日時：令和4年 11月 11日（金）
午後2時00分から午後3時30分
場所：市川市保健センター4階大会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - (1) 自殺者実態報告
 - (2) 自殺対策事業実績報告
 - (3) 今後の取り組みについて
 - (4) 意見交換
4. 閉会

自殺者実態の傾向

- 全国 令和3年の自殺者数・自殺死亡率はともに減少、女性や若者は増加
- 千葉県 令和3年の自殺者数・自殺死亡率はともに減少、女性や若者は増加
- 市川市 令和3年の自殺者数・自殺死亡率はともに増加
総数で見ると、男性が依然多く、女性の約2.5倍であるが
女性の自殺者数は増加
未遂者数は減少し、20歳代が最多であり30歳代、50歳代と続く

令和4年9月速報値より

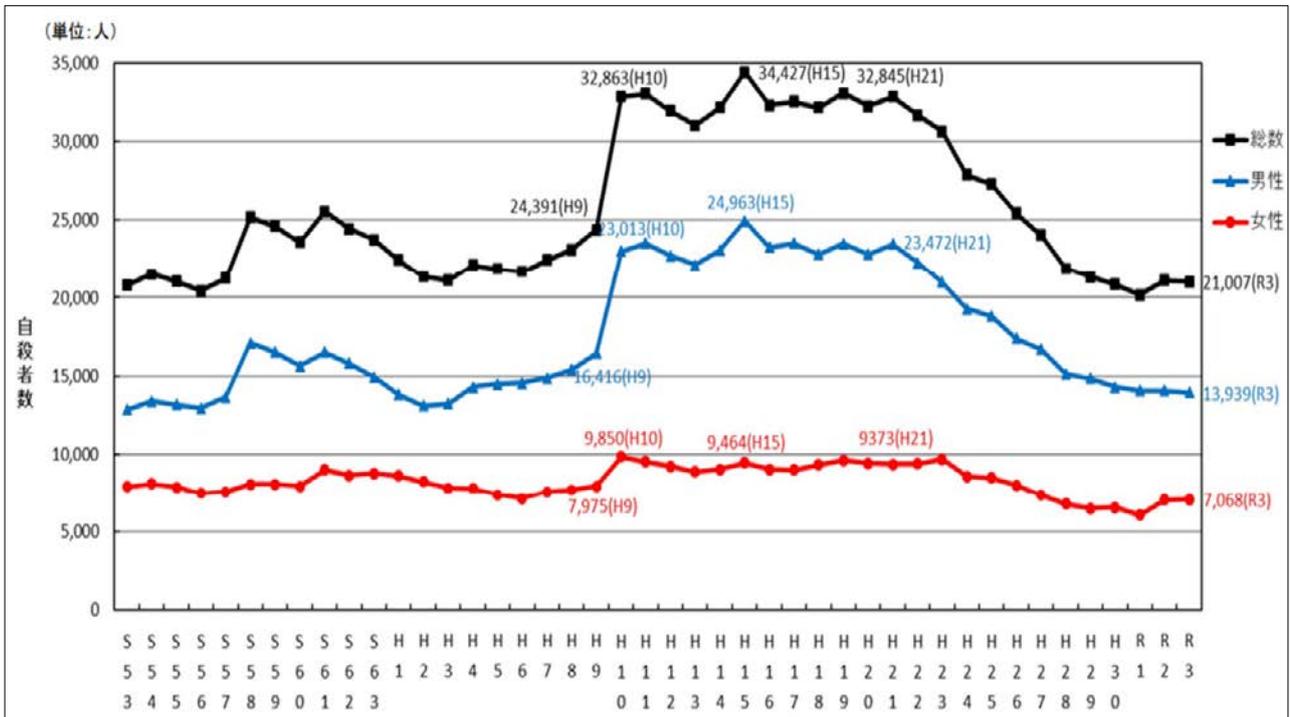
全国・千葉県ともに自殺者数は増加傾向
市川市でも増加傾向にある



今後も市川市の自殺者数・自殺死亡率が増加する可能性が高い

1-1. 自殺者数の推移(全国)

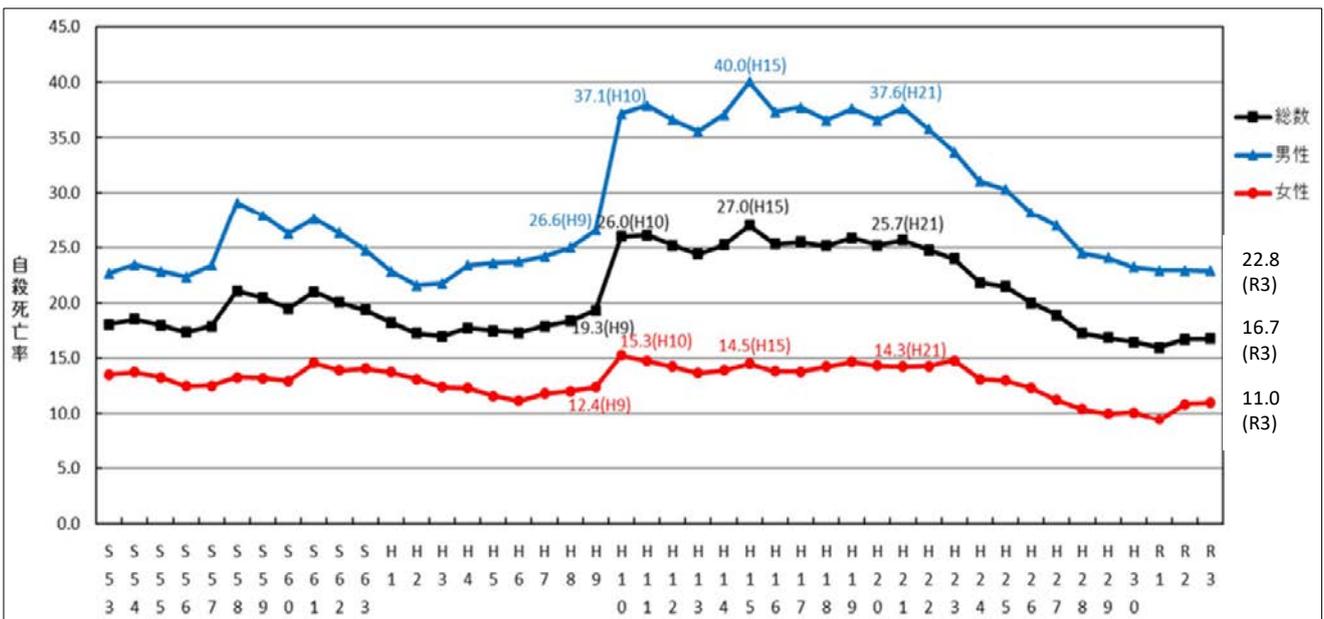
令和3年は男性が12年連続で微減しているが、女性は2年連続で増加している。
 男性の自殺者数は女性の2倍となっている。



警察庁自殺統計原票より厚生労働省作成

1-2. 自殺死亡率の推移(全国)

令和3年の自殺死亡率は16.7。女性の自殺死亡率上昇の影響で総数としても上昇に転じた。

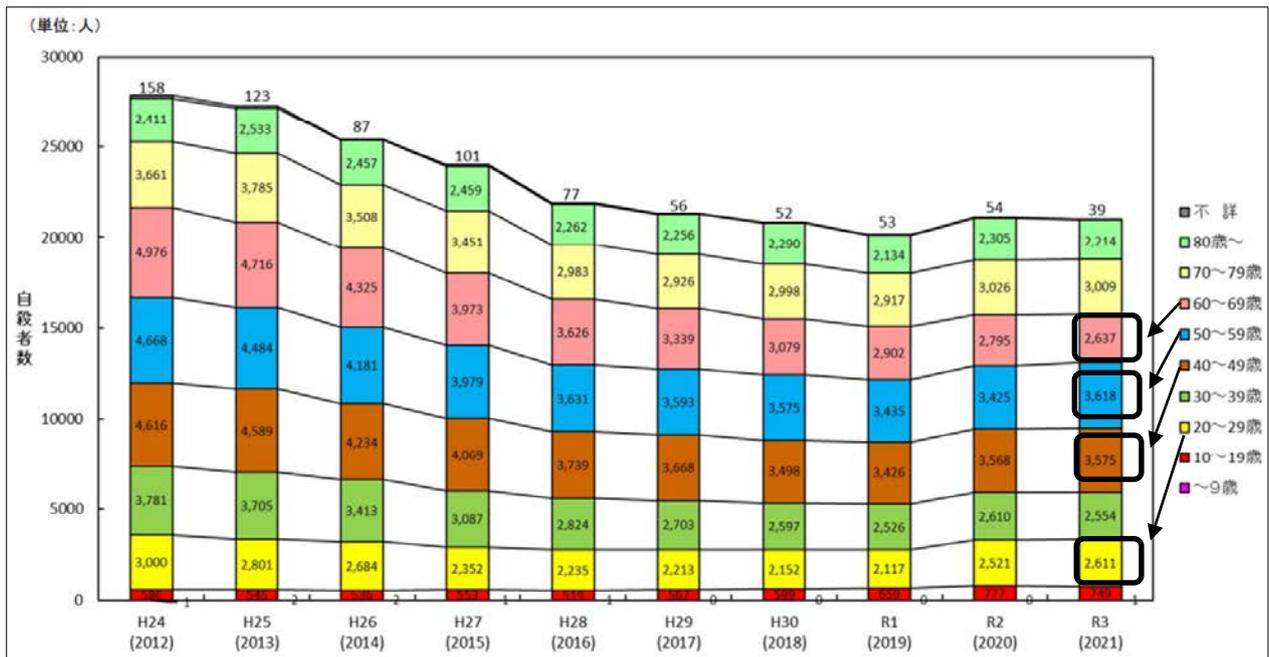


注)「自殺死亡率」とは、人口10万人当たりの自殺者数を表したものの。

警察庁自殺統計原票データ、総務省「国勢調査」及び「人口統計」より厚生労働省作成

1-3. 年齢階級別自殺者数の推移(全国)

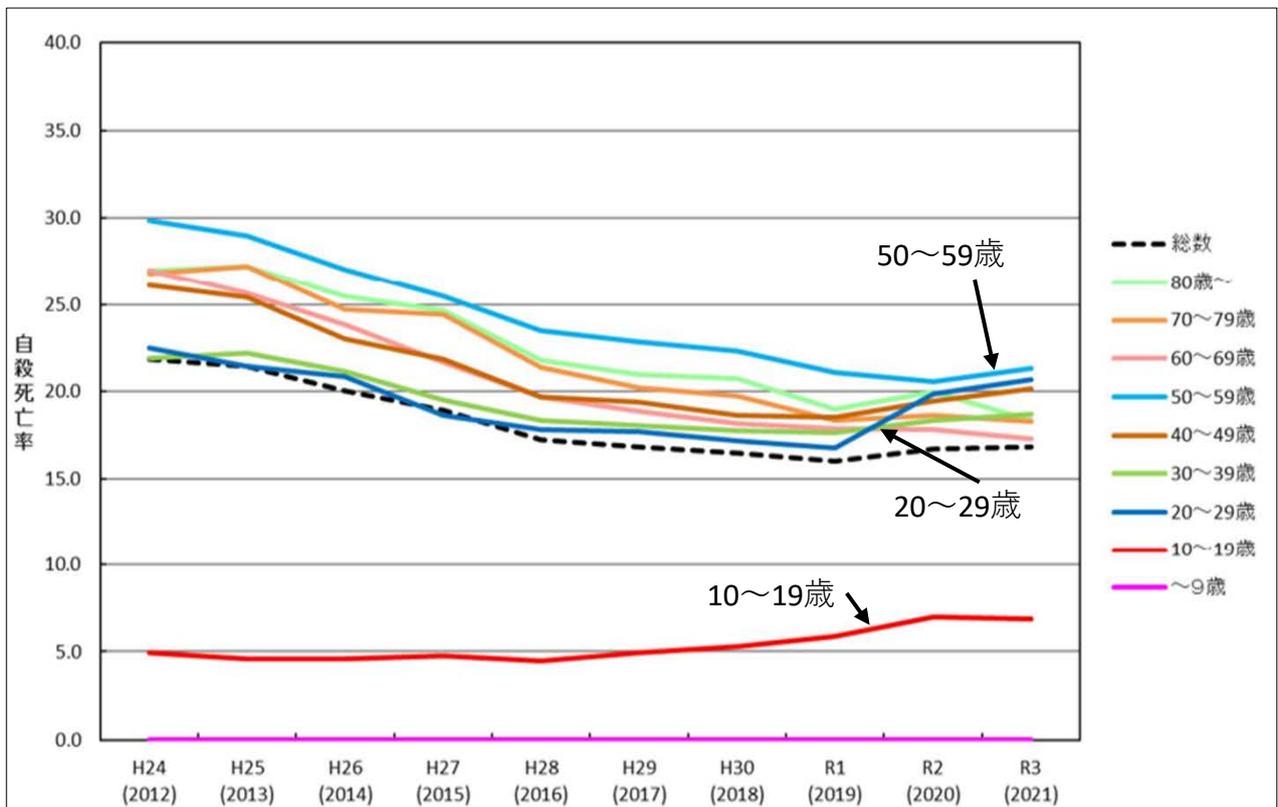
令和3年は、前年と比較して20歳代、40歳代、50歳代の各年齢階級で増加した。



警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

1-4. 年齢階級別自殺死亡率の推移(全国)

令和3年は前年と比較し、20歳未満及び60歳以上の年齢階級層で低下。
20歳代は0.9ポイント、50歳代は0.8ポイントそれぞれ大きく上昇した。



警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

1-5. 令和3年における死因順位別にみた年齢階級・死亡数・死亡率(全国)

10代、20代、30代の死亡原因の第1位が自殺となっている。

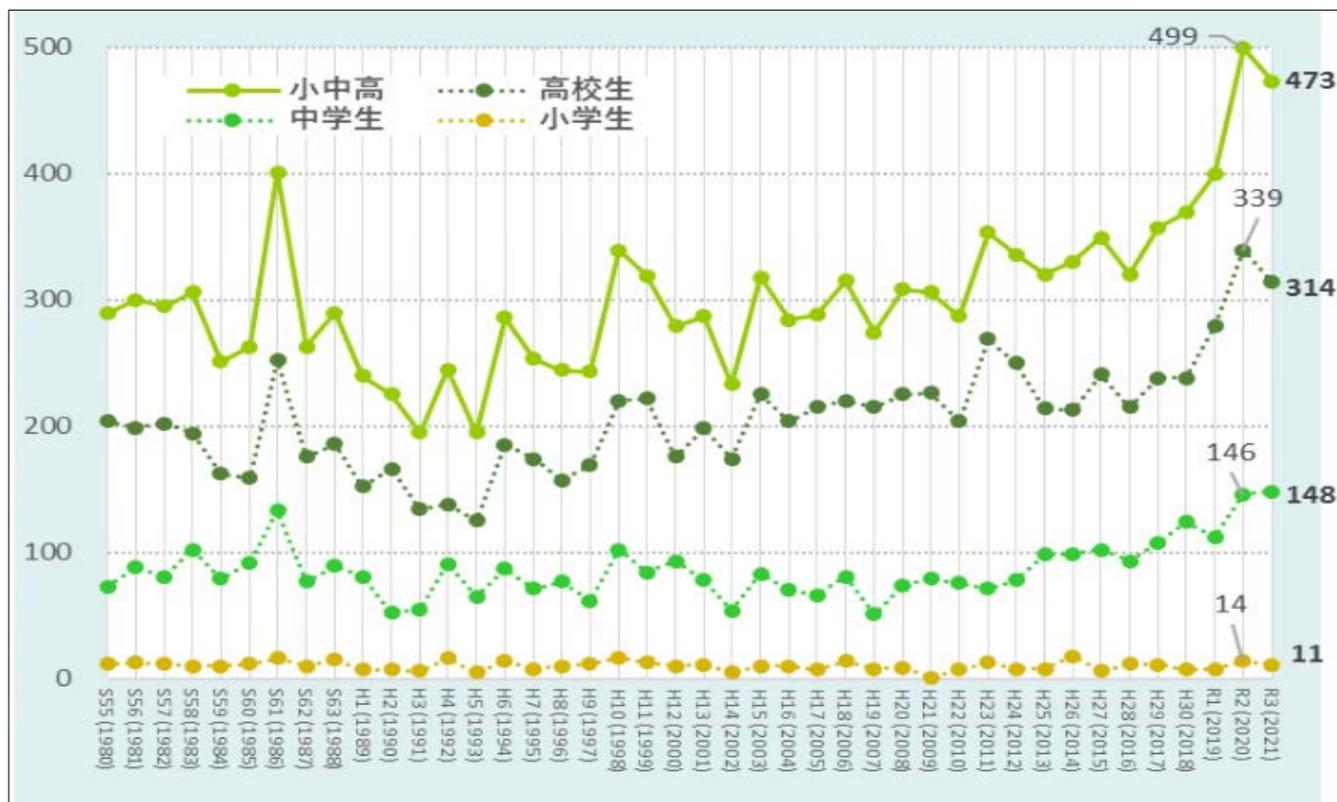
	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
10～14歳	自殺	128	2.4	悪性新生物	82	1.5	不慮の事故	52	1.0
15～19歳	自殺	632	11.5	不慮の事故	161	2.9	悪性新生物	126	2.3
20～24歳	自殺	1284	21.8	不慮の事故	238	4.0	悪性新生物	157	2.7
25～29歳	自殺	1241	20.9	悪性新生物	225	3.8	不慮の事故	201	3.4
30～34歳	自殺	1179	19.0	悪性新生物	517	8.3	心疾患	197	3.2
35～39歳	自殺	1297	18.3	悪性新生物	946	13.4	心疾患	375	5.3
40～44歳	悪性新生物	2037	25.6	自殺	1525	19.2	心疾患	753	9.5
45～49歳	悪性新生物	4295	45.0	自殺	1943	20.4	心疾患	1682	17.6
50～54歳	悪性新生物	7444	82.0	心疾患	2788	30.7	自殺	1850	20.4
55～59歳	悪性新生物	11363	147.8	心疾患	3534	46.0	脳血管疾患	1995	25.9
60～64歳	悪性新生物	17659	241.9	心疾患	5110	70.0	脳血管疾患	2645	36.2
65～69歳	悪性新生物	31939	409.5	心疾患	8399	107.7	脳血管疾患	4463	57.2
70～74歳	悪性新生物	59734	620.0	心疾患	16312	169.6	脳血管疾患	9062	94.2
75～79歳	悪性新生物	60032	898.9	心疾患	20261	303.4	脳血管疾患	11486	172.0
80～84歳	悪性新生物	67403	1216.7	心疾患	31436	567.4	脳血管疾患	17225	310.9
85～89歳	悪性新生物	64605	1673.8	心疾患	46470	1203.9	老衰	30679	794.8
90～94歳	老衰	49349	2597.3	心疾患	46981	2472.7	悪性新生物	39038	2054.6
95～99歳	老衰	39192	7311.9	心疾患	24579	4585.6	悪性新生物	12116	2260.4
100歳以上	老衰	15465	18194.1	心疾患	5352	6296.5	脳血管疾患	1899	2234.1

人口動態統計より作成

1-6. 学生・生徒等の自殺者数の年次推移(全国)

学生及び生徒の自殺者数は減少傾向にあったが、令和元年以降増加している。

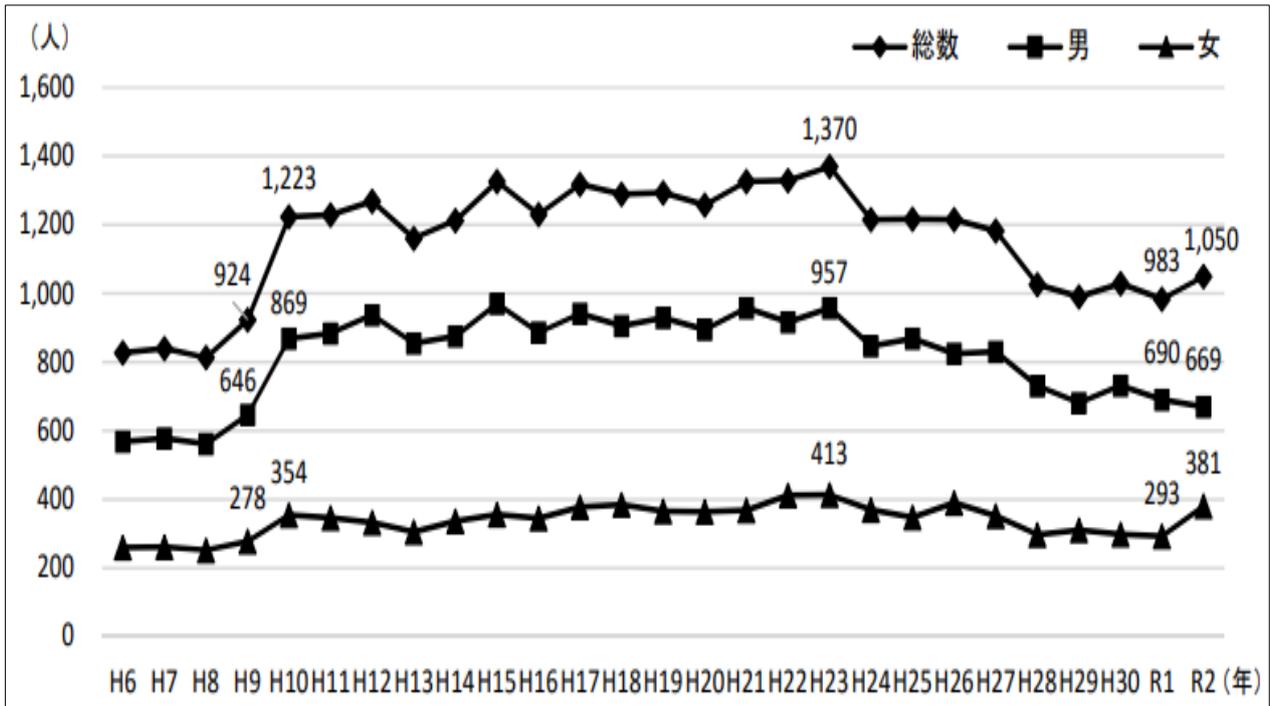
小中高校生の自殺者数は、令和2年に過去最多となり、令和3年は過去2番目となる。



警察庁「自殺統計」より自殺対策推進センター作成

2-1. 自殺者数の推移(千葉県)

令和2年は、男性は減少したものの、女性は増加しており県全体も増加傾向にある。

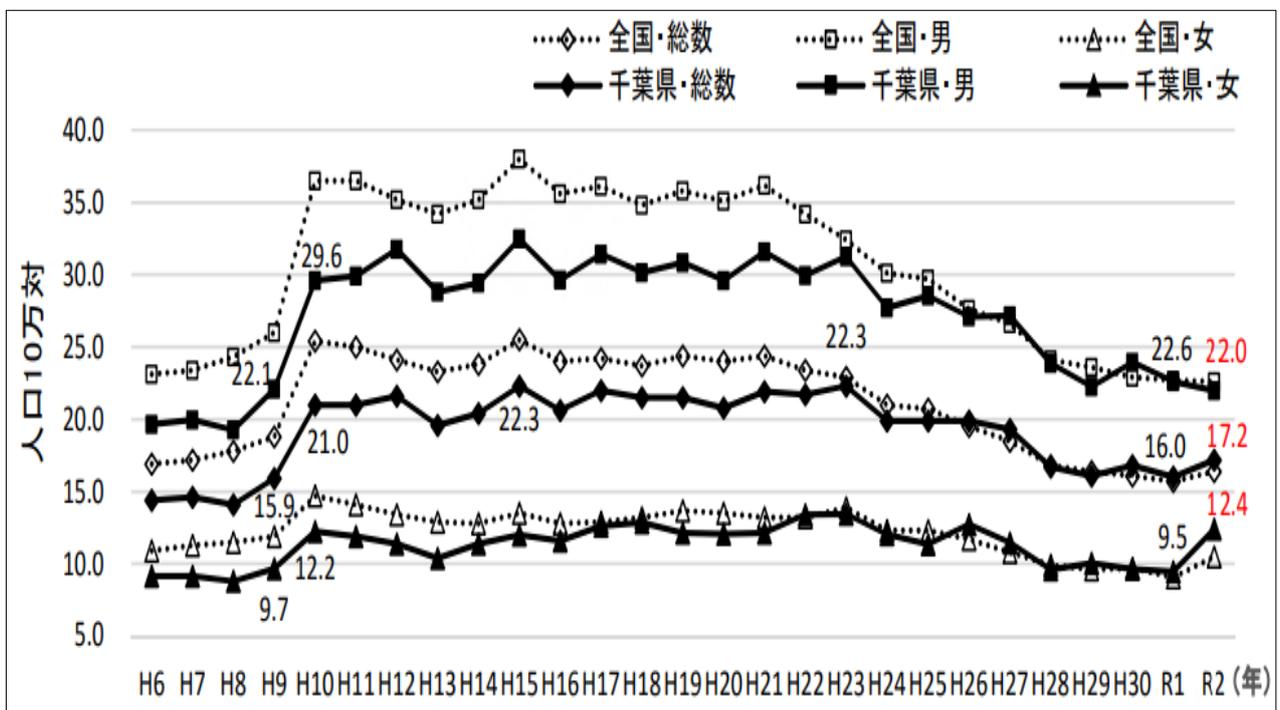


千葉県衛生統計年報より

2-2. 自殺死亡率の推移(千葉県)

令和2年の自殺死亡率は17.2と前年よりも1.2ポイント上昇している。

男性は低下しているが、女性の自殺死亡率が上昇しているため、全体として上昇した。

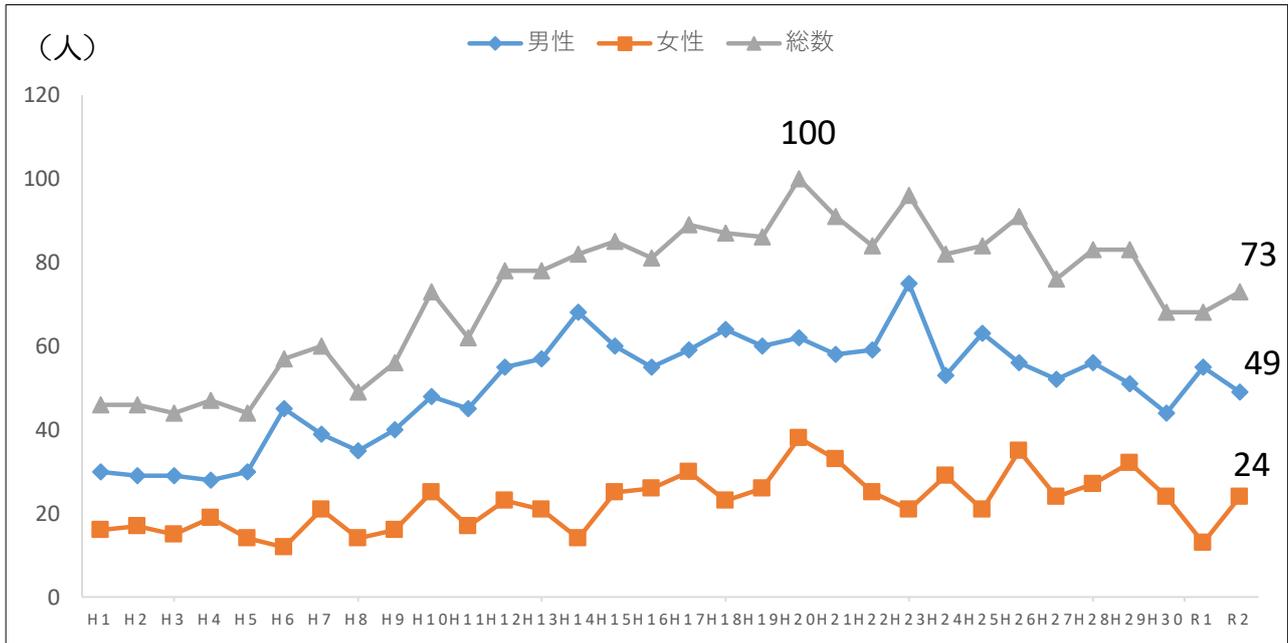


千葉県衛生統計年報より

3-1. 自殺者数の推移(市川市)

令和2年の自殺者数は73人。

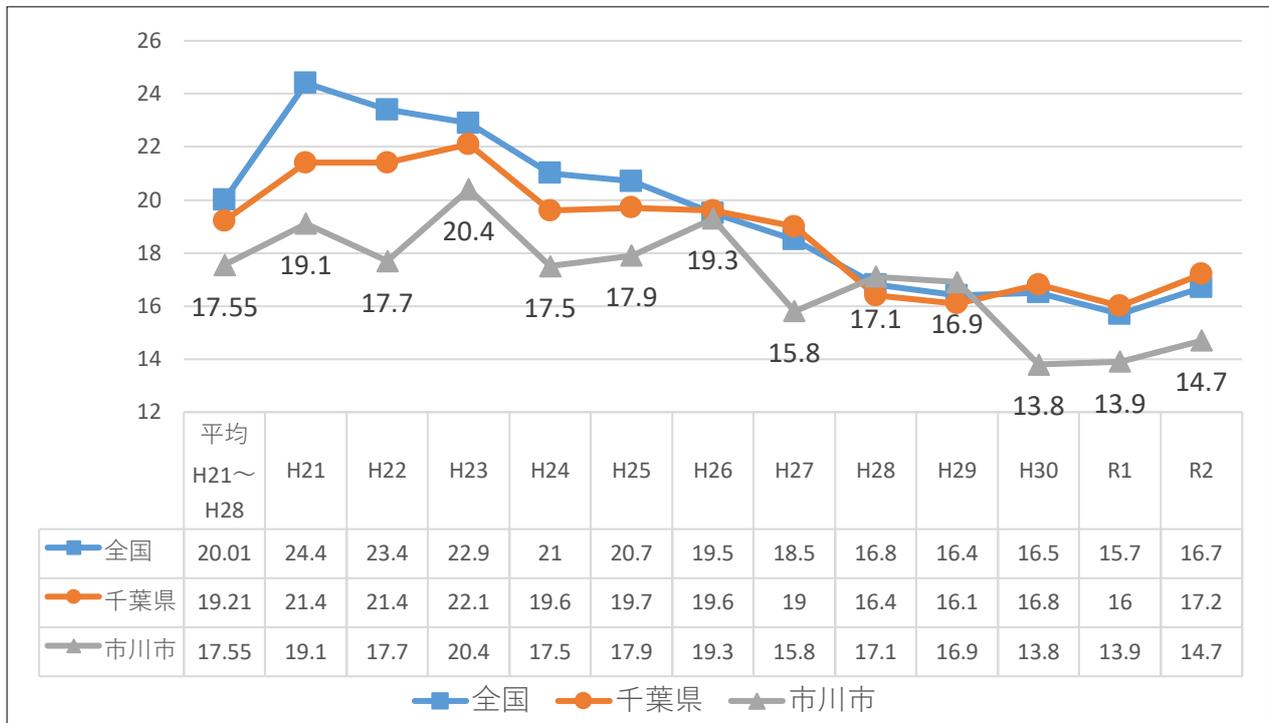
令和元年より、男性は減少しているが女性が増加しているため総数も増加している。



千葉県衛生統計年報より

3-2. 自殺死亡率の推移(市川市)

増減を繰り返しながら減少していたが、平成30年より増加傾向にある。

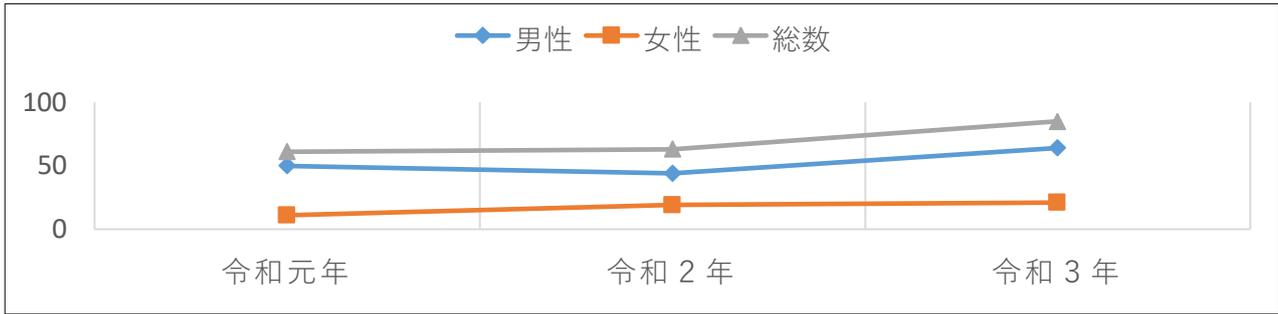


全国:人口動態統計

千葉県・市川市:千葉県衛生統計年報より作成

4-1. 自殺者数性別内訳(市川市)

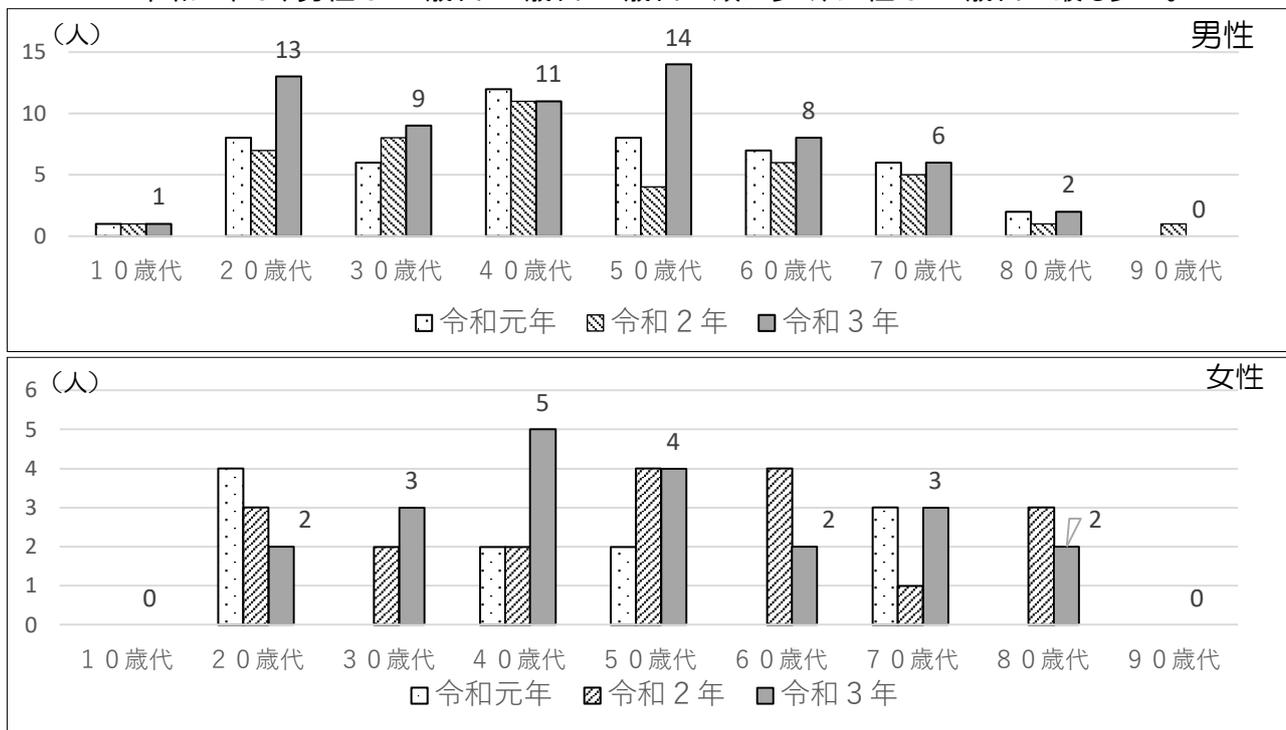
自殺者数は、女性と比べ男性の方が2倍以上多い。



人口動態調査死亡小票(令和元年～令和3年)より作成

4-2. 年齢別自殺者数(市川市)

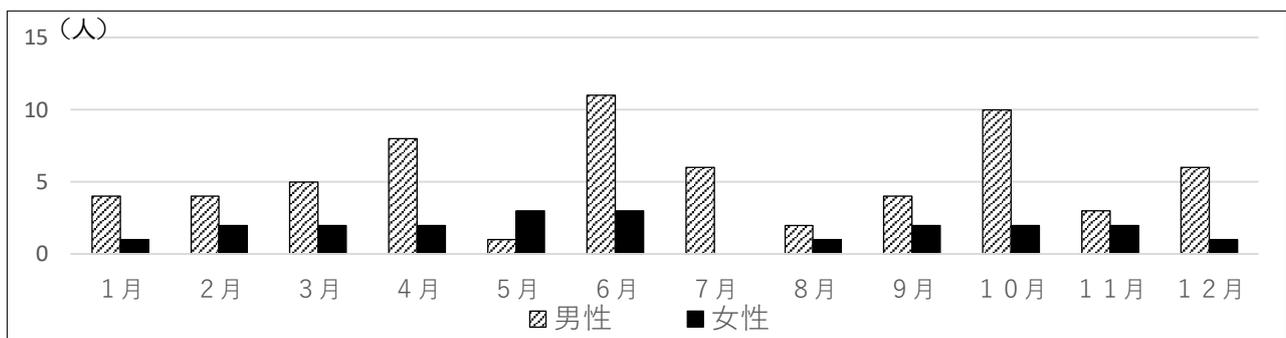
令和3年は、男性は50歳代20歳代40歳代の順に多く、女性は40歳代が最も多い。



人口動態調査死亡小票(令和元年～令和3年)より作成

4-3. 月別自殺者数(市川市)

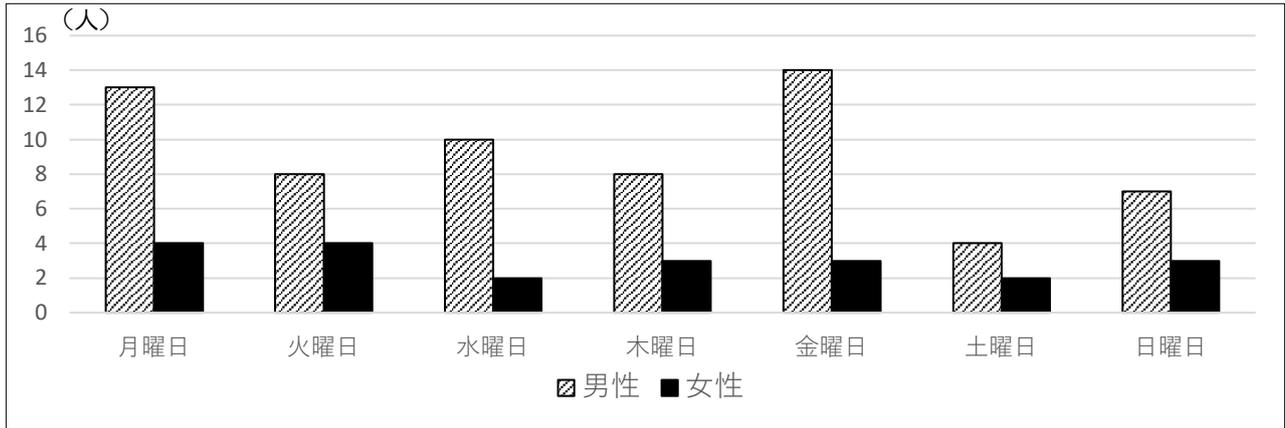
男性は6月が最も多く、女性では5月6月が同数で最も多い。



人口動態調査死亡小票(令和3年)より作成

4-4. 曜日別自殺者数(市川市)

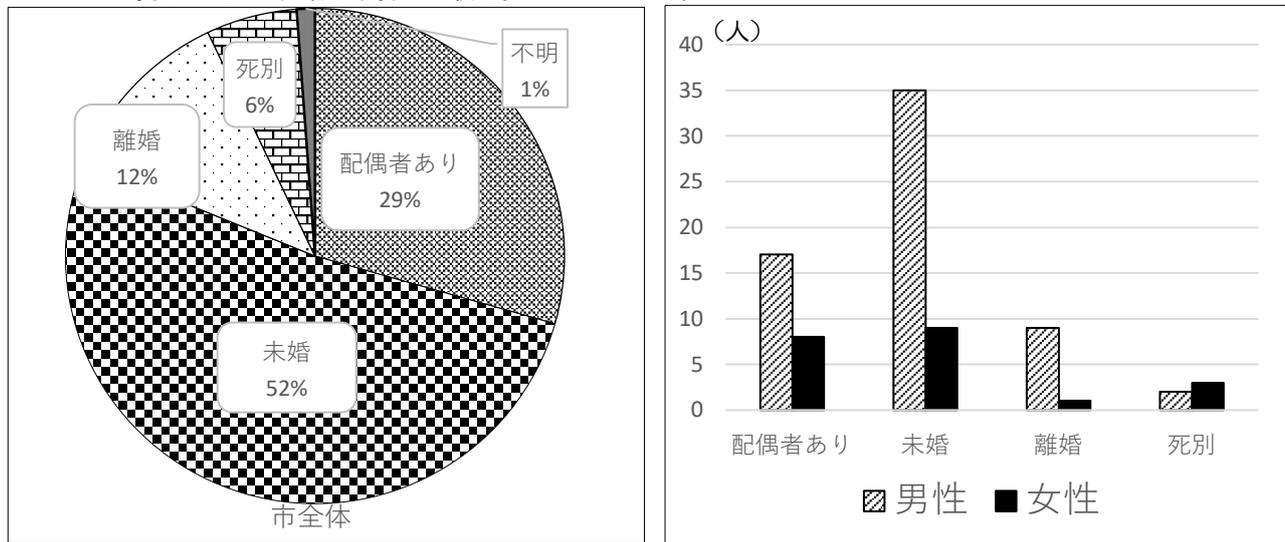
男性は金曜日が最も多く、女性が月曜日・火曜日が最も多い。



人口動態調査死亡小票(令和3年)より作成

4-5. 配偶関係別の自殺者数の構成割合(市川市)

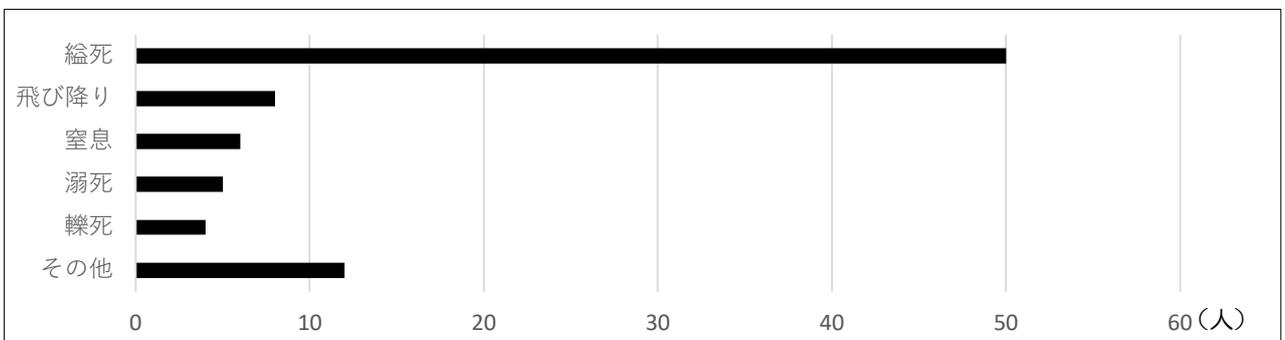
男女ともに未婚の割合が最も多くなっている。



人口動態調査死亡小票(令和3年)より作成

4-6. 自殺の手段(市川市)

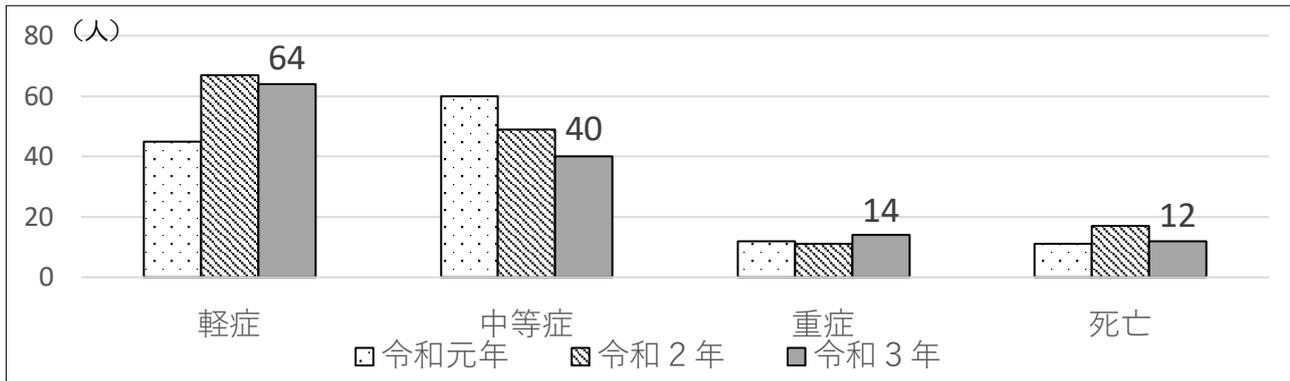
縊死による自殺が最も多く、全体の約6割を占める。



人口動態調査死亡小票(令和3年)より作成

4-7. 自損行為による救急搬送人員状況(市川市)

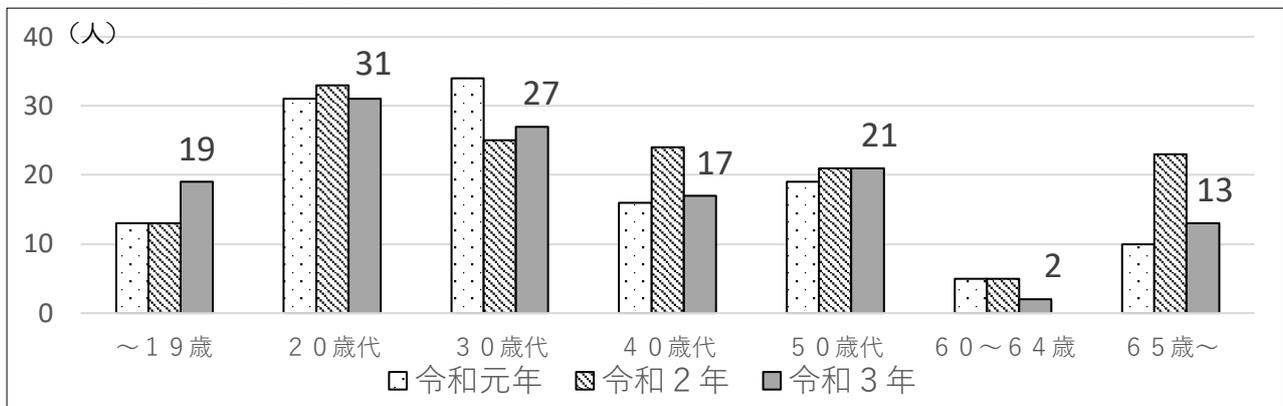
令和3年の救急搬送数は130人。



市川市消防局救急課の資料を基に作成

4-8. 自損行為による年齢別搬送者数(市川市)(令和元年~令和3年)

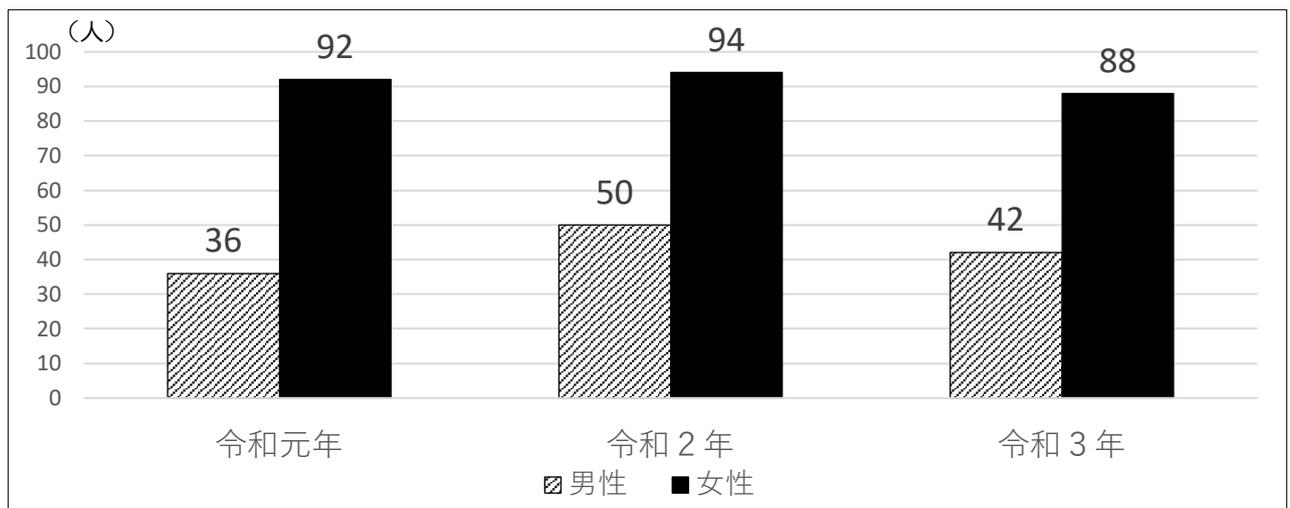
20歳代が最多であり、30歳代、50歳代と続く。



市川市消防局救急課の資料を基に作成

4-9. 搬送者の男女別数(市川市)

令和3年は、女性88人、男性42人で女性が男性の2倍以上多い。

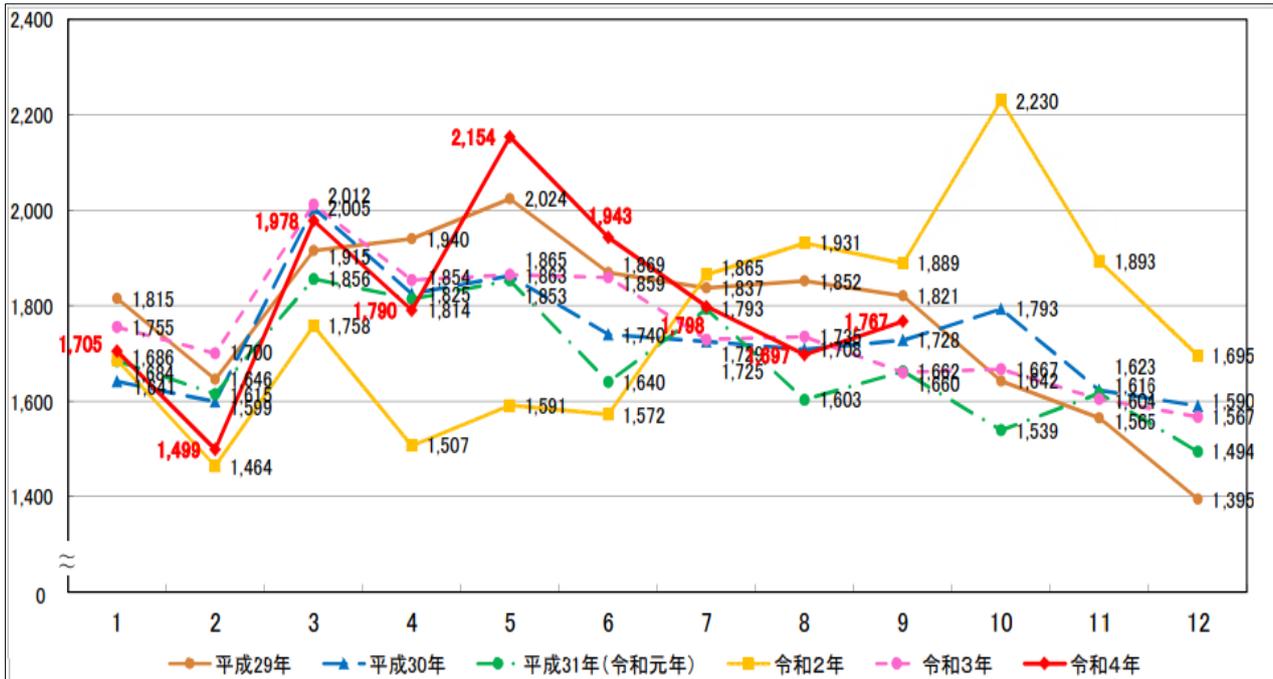


市川市消防局救急課の資料を基に作成

5-1. 全国月別自殺者数の推移(総数)

令和4年9月の自殺者数は速報値で、1,767人であり、対前年同月比107人増。
 令和4年1月～9月の累計自殺者数は速報値で16,331人。対前年同年比162人増。

(令和4年9月速報値)



厚生労働省自殺対策推進室作成

5-2. 前年同月自殺者増減数上位5県 ワースト1位となっている。

(令和4年9月速報値)

		令和3年	令和4年	対前年比	
				増減数	増減率
増加	千葉	75	107	32	42.7
	東京	173	204	31	17.9
	埼玉	86	110	24	27.9
	愛知	92	114	22	23.9
	福岡	70	87	17	24.3
減少	広島	43	27	△ 16	△ 37.2
	福井	22	8	△ 14	△ 63.6
	三重	29	15	△ 14	△ 48.3
	長崎	24	12	△ 12	△ 50.0
	富山	24	14	△ 10	△ 41.7
	群馬	40	30	△ 10	△ 25.0

5-3. 対前年同月自殺者増減率上位5県

(令和4年9月速報値)

		令和3年	令和4年	対前年比	
				増減数	増減率
上昇	石川	9	21	12	133.3
	岩手	9	18	9	100.0
	長野	18	32	14	77.8
	山口	14	24	10	71.4
	高知	12	20	8	66.7
	低下	徳島	13	4	△ 9
福井		22	8	△ 14	△ 63.6
長崎		24	12	△ 12	△ 50.0
三重		29	15	△ 14	△ 48.3
富山		24	14	△ 10	△ 41.7

厚生労働省自殺対策推進室作成

5-4. 原因・動機、年齢別自殺者数(全国)

いずれの世代も健康問題が動機として上位に位置する。
20歳未満、20歳代では交際問題や学校問題が上位に位置する。

(令和4年8月暫定値)

原因・動機	自殺者 総数	総数	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
総数	1697	1375	342	980	310	183	51	37	113	322
20歳未満	54	41	8	8	3	2	8	22	5	13
20-29	188	147	29	62	42	37	19	15	15	41
30-39	176	144	46	84	41	28	11	0	9	32
40-49	280	228	71	134	61	47	8	0	23	52
50-59	293	229	68	147	74	49	5	0	20	64
60-69	210	170	33	126	52	15	0	0	13	40
70-79	251	210	41	208	27	5	0	0	9	41
80歳以上	237	203	46	210	9	0	0	0	18	34
不詳	8	3	0	1	1	0	0	0	1	5

厚生労働省自殺対策推進室作成

(備考)「原因・動機特定者」とは、少なくとも1つの原因・動機が特定されている自殺者。
令和4年1月分から、自殺統計原票の見直しにより原因・動機の「男女問題」の項目が「交際問題」に変更されている。

5-5. 職業・男女・原因動機別自殺者数(全国)

いずれの職業においても、健康問題、家庭問題、経済・生活問題が上位を占める。

(令和4年8月暫定値)

職業	男女	自殺者 総数	原因・動機特定者の原因・動機							不詳	
			総数	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題		その他
総数	総数	1697	1375	342	980	310	183	51	37	113	322
	男	1157	931	219	577	274	156	31	28	82	226
	女	540	444	123	403	36	27	20	9	31	96
有職者	総数	608	549	174	264	175	157	31	0	47	59
	男	492	440	132	194	156	133	18	0	39	52
	女	116	109	42	70	19	24	13	0	8	7
無職	総数	887	811	165	709	130	24	20	37	63	76
	男	531	480	84	379	113	21	13	28	41	51
	女	356	331	81	330	17	3	7	9	22	25
不詳	総数	202	15	3	7	5	2	0	0	3	187
	男	134	11	3	4	5	2	0	0	2	123
	女	68	4	0	3	0	0	0	0	1	64

厚生労働省自殺対策推進室作成

(備考)「原因・動機特定者」とは、少なくとも1つの原因・動機が特定されている自殺者。
原因・動機を3つまで計上可能としているため、総数と原因・動機別自殺者数の和は一致しない。
令和4年1月分から、自殺統計原票の見直しにより原因・動機の「男女問題」の項目が「交際問題」に変更されている。また、職業が「自営業・家族従業者+被雇用者・勤め人」が「有職者」に変更されている。

5-6. 厚生労働省からのメッセージ

小中高生の自殺者数は令和2年に過去最多となり、令和3年は過去2番目となり深刻な状況。夏季休暇明けの自殺防止にむけ、厚生労働省よりメッセージを発信。

なや きも
悩みや気持ちをきかせてください
わか せだい
～若い世代のみなさんへ～

なつやす あ しんがっき はじ なん かん ふあん
夏休みが明け、新学期が始まることで、何となく感じる不安
しんろ ゆうじん かぞく かん なや
や進路、友人や家族に関する悩みなどはありませんか。

なや
どうかひとりで悩まないでください。

かぞく ゆうじん みちか きも つた ひと
家族や友人など、身近に気持ちを伝えられる人はいません

か？

みちか ひと はな とき わか せだい たいしょう
身近な人に話づらい時には、若い世代のみなさんを対象と
えすえぬえす そうだんまどぐち きがる なや
したSNSでの相談窓口もあるので、スマホなどから気軽に悩
みや気持ちを伝えてみてください。

ゆうじん ようす ちが かん
また、もし友人の様子がいつもと違うと感じたときには、やさしく
こえ
声をかけてみてください。

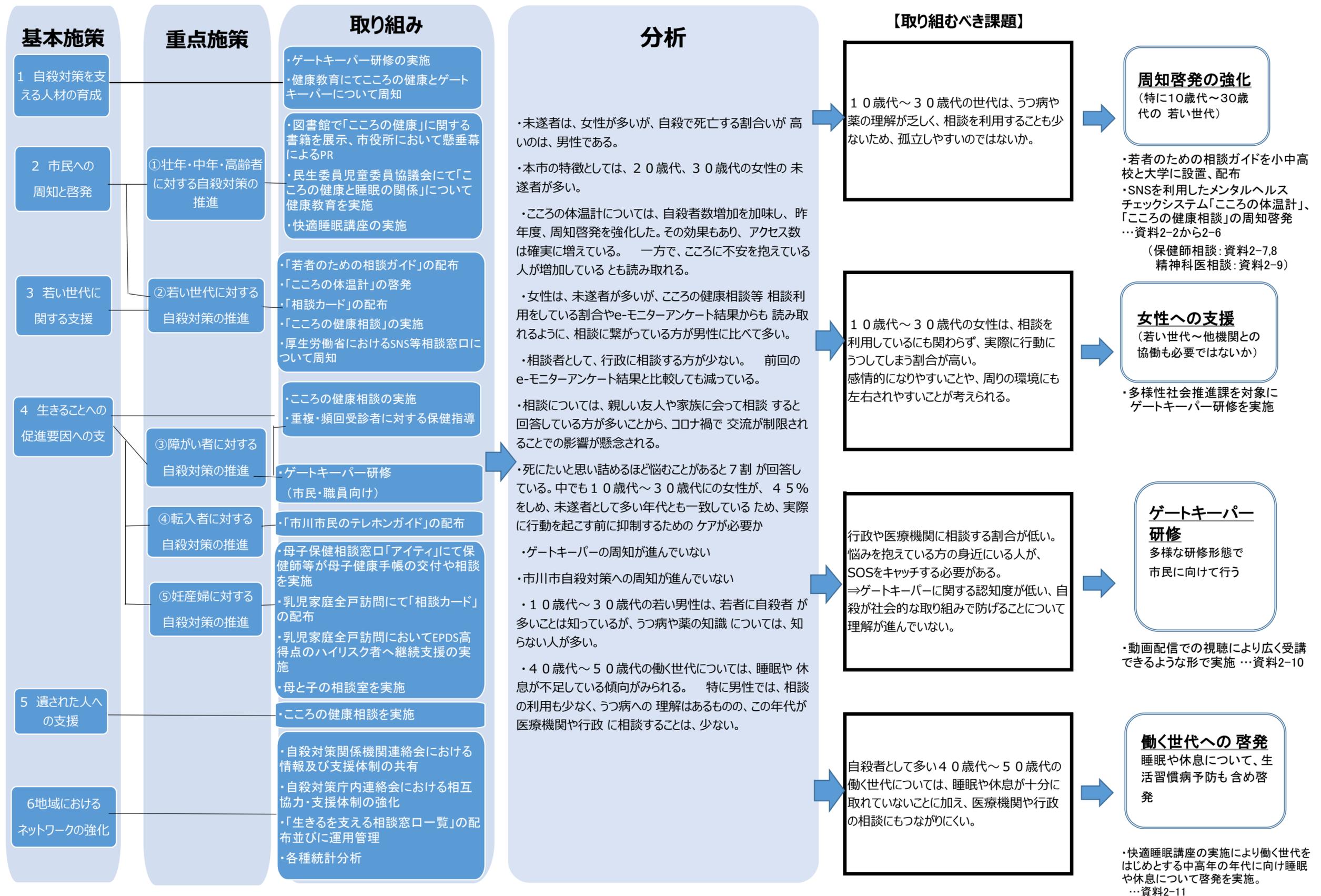
こえ ふあん なや すこ やわ
声をかけあうことで、不安や悩みを少しでも和らげることができ
るかもしれません。あなたの声かけを待っている人がいます。

れいわ ねん がつ にち
令和4年8月26日

か どう かつ のぶ
こうせいろうどうたいじん
厚生労働大臣 加藤勝信



厚生労働省ウェブサイト「まもろうよこころ」
▶電話やSNSの相談窓口等を分かりやすく紹介
<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>



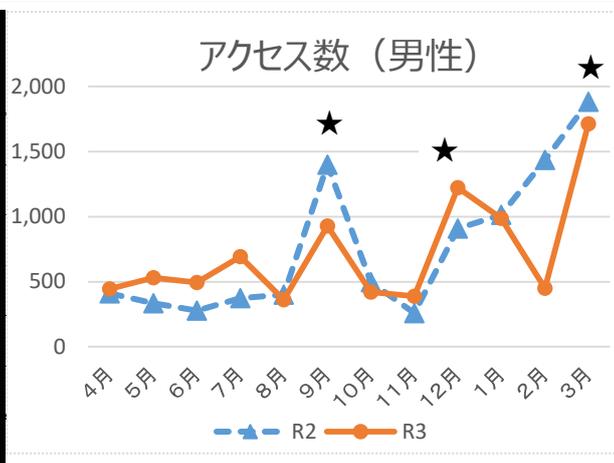
2-2. R2・3年度 こころの体温計 本人モード利用者内訳(男性)

性別	年代	4月		5月		6月		7月	
		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
男性	10代	36	44	24	55	22	62	98	167
	20代	44	51	50	43	46	39	65	75
	30代	118	132	93	168	80	144	76	140
	40代	79	109	97	132	74	116	64	146
	50代	95	72	39	69	35	95	53	128
	60代	38	38	32	64	21	38	18	36
合計		410	446	335	531	278	494	374	692

性別	年代	8月		9月		10月		11月	
		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
男性	10代	50	41	72	66	51	41	42	37
	20代	53	52	216	131	94	35	30	40
	30代	104	84	319	227	87	76	36	81
	40代	47	90	473	315	156	158	87	129
	50代	91	45	168	106	65	83	35	75
	60代	56	50	151	84	43	27	29	26
合計		401	362	1,399	929	496	420	259	388

性別	年代	12月		1月		2月		3月	
		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
男性	10代	61	126	56	26	103	35	114	75
	20代	155	153	112	127	97	51	208	198
	30代	219	294	241	285	215	157	466	384
	40代	257	367	294	314	314	86	551	417
	50代	174	165	188	142	466	92	260	349
	60代	43	118	123	93	242	30	284	291
合計		909	1,223	1,014	987	1,437	451	1,883	1,714

性別	年代	計		前年度との比較
		R2	R3	
男性	10代	729	775	↗
	20代	1,170	995	↘
	30代	2,054	2,172	↗
	40代	2,493	2,379	↘
	50代	1,669	1,421	↘
	60代	1,080	895	↘
合計		9,195	8,637	↘



：その期間で一番利用が多かった年代

★印のある月にSNS等で周知を実施

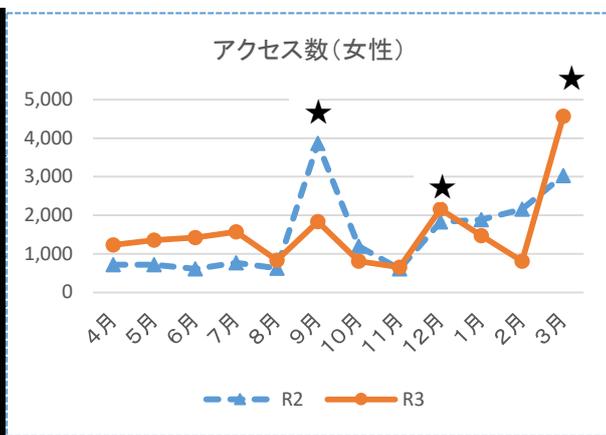
2-3. R2・3年度 こころの体温計 本人モード利用者内訳(女性)

性別	年代	4月		5月		6月		7月	
		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
女性	10代	51	69	29	128	53	137	157	388
	20代	137	172	76	119	86	129	103	147
	30代	162	389	180	345	189	368	191	226
	40代	214	313	155	396	142	423	204	404
	50代	103	205	91	274	87	286	79	319
	60代	56	85	62	93	58	81	32	85
合計		723	1,233	593	1,355	615	1,424	766	1,569

性別	年代	8月		9月		10月		11月	
		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
女性	10代	110	58	124	118	68	52	37	63
	20代	123	91	461	289	192	103	89	85
	30代	162	187	926	513	264	224	174	209
	40代	107	263	1,042	445	385	185	162	134
	50代	81	164	865	317	187	161	113	126
	60代	45	72	447	152	105	86	35	37
合計		628	835	3,865	1,834	1,201	811	610	654

性別	年代	12月		1月		2月		3月	
		R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
女性	10代	136	142	97	67	159	74	132	163
	20代	327	275	218	210	143	80	270	587
	30代	468	683	524	435	387	258	715	962
	40代	582	540	619	418	578	176	892	1,186
	50代	245	316	285	269	624	182	674	1,081
	60代	69	203	142	76	265	43	349	584
合計		1,827	2,159	1,885	1,475	2,156	813	3,032	4,563

性別	年代	計		前年度との比較
		R2	R3	
女性	10代	1,153	1,459	↗
	20代	2,225	2,287	↗
	30代	4,342	4,799	↗
	40代	5,082	4,883	↘
	50代	3,434	3,700	↗
	60代	1,665	1,597	↘
合計		17,901	18,725	↗



：その期間で一番利用が多かった年代

★印のある月にSNS等で周知を実施

2-4. こころの体温計 本人モード利用者 落ち込み度（うつ度）割合

本人モード 利用者内訳		レベル3			レベル4			平均	
		R2年度	R3	R4(※)	R2年度	R3	R4(※)	レベル3	レベル4
男性	10代	5.9%	5.3%	8.1%	7.3%	10.4%	11.8%	6.6%	7.9%
	20代	5.7%	5.7%	7.1%	7.2%	7.5%	9.8%	6.4%	6.6%
	30代	4.8%	4.5%	4.7%	5.1%	5.3%	4.8%	5.0%	4.9%
	40代	5.1%	4.4%	4.7%	4.9%	5.6%	4.9%	5.0%	5.0%
	50代	4.4%	4.2%	4.7%	6.7%	7.1%	7.3%	5.5%	5.6%
	60代	5.4%	5.3%	6.7%	4.5%	5.3%	5.5%	5.0%	5.3%
女性	10代	6.4%	5.6%	8.2%	9.4%	9.9%	12.9%	7.9%	7.7%
	20代	6.1%	5.2%	7.6%	8.0%	8.8%	10.8%	7.0%	7.0%
	30代	5.2%	4.6%	5.0%	4.7%	5.1%	4.7%	4.9%	4.8%
	40代	4.8%	5.0%	5.1%	5.1%	4.7%	4.8%	5.0%	4.9%
	50代	5.0%	4.5%	5.4%	4.5%	4.7%	4.0%	4.8%	4.6%
	60代	6.0%	5.3%	5.2%	3.9%	3.9%	4.1%	4.9%	4.6%

レベル3：うつ傾向者

割合（％）で記載

レベル4：ケア対象者

※ 令和4年度は9月までの平均値

：その年度での割合が一番多かった世代

年齢が上がるにつれて、レベル3・4の割合が減っている。

2-5. 市川市こころの健康相談 総相談件数（延）

	電話相談	面接相談	WEBメール相談	月合計
R2.9月（15日～30日）	0	0	6	6
10月	39	1	1	41
11月	44	3	2	49
12月	46	1	0	47
R3.1月	71	2	0	73
2月	107	1	2	110
3月	98	0	0	98
R2年度合計	405	8	11	424
R3.4月	108	0	0	108
5月	120	0	0	120
6月	119	0	1	120
7月	166	1	2	169
8月	159	1	0	160
9月	144	0	0	144
10月	114	0	0	114
11月	115	0	1	116
12月	104	0	0	104
R4.1月	159	0	0	159
2月	124	0	0	124
3月	202	1	0	203
R3年度合計	1634	3	4	1641
R4.4月	177	0	0	177
5月	226	0	0	226
6月	241	0	0	241
7月	199	0	0	199
8月	244	1	0	245
9月	244	2	0	246
R4年度合計（4月～9月）	1331	3	0	1334

令和2年度月平均

倍増

令和3年度月平均

136件

1.5倍

令和4年度月平均

222件

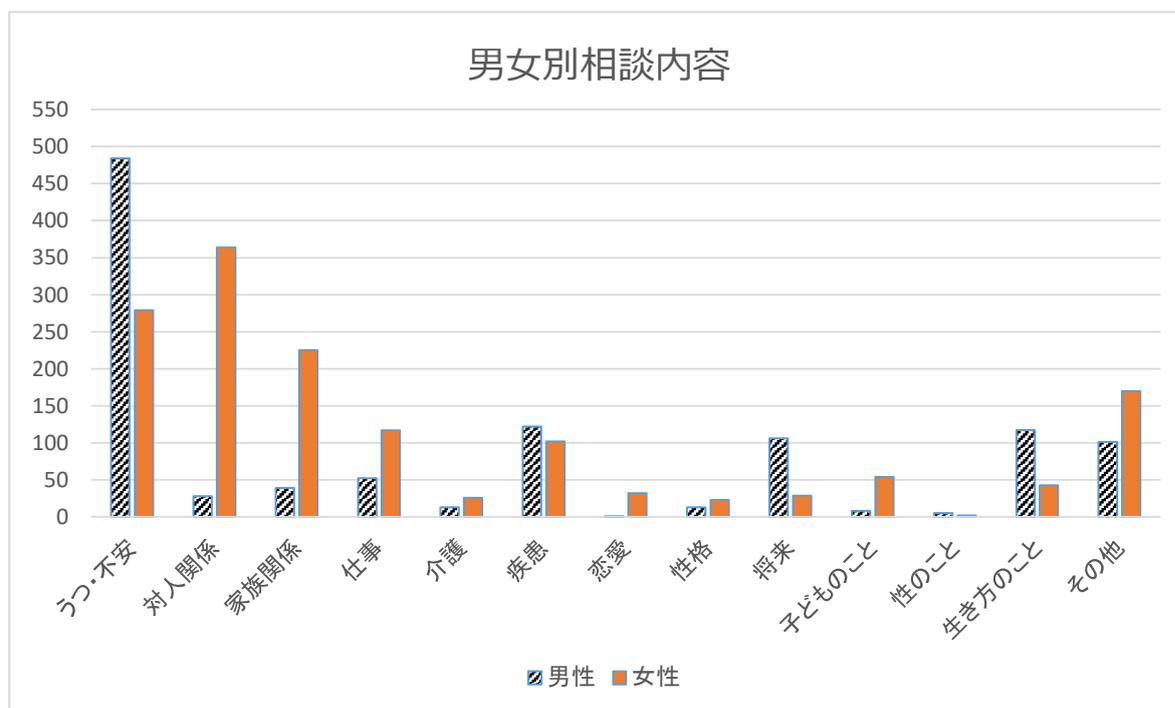
- ・相談数急増は、相談ニーズの増加と周知機会を増やしたことによるものと考えられる。
- ・9割以上の方が電話相談を希望されている。

2-6. 市川市こころの健康相談 相談内容（延）

（令和2年9月～令和4年9月まで）

相談方法	性別	うつ・不安	対人関係	家族関係	仕事	介護	疾患	恋愛
電話	男性	479	28	39	51	13	121	1
	女性	278	360	222	117	26	101	32
	性別不明	0	0	0	0	0	0	0
メール	男性	0	0	0	1	0	0	0
	女性	1	3	3	0	0	1	0
面接	男性	5	0	0	0	0	1	0
	女性	0	1	0	0	0	0	0
計		763	392	264	169	39	224	33

相談方法	性別	性格	将来	子どものこと	性のこと	生き方のこと	その他	計
電話	男性	13	106	7	5	116	101	1080
	女性	23	28	52	2	39	168	1448
	性別不明	0	0	0	1	0	22	23
メール	男性	0	0	1	0	1	0	3
	女性	0	0	2	0	0	2	12
面接	男性	0	0	0	0	0	0	6
	女性	0	1	0	0	4	0	6
計		36	135	62	8	160	293	2578



- ・ 相談内容は、男性がうつ・不安、疾患、生き方のことの順に多く、女性は対人関係、うつ・不安、家族関係の順に多い。
- ・ 表にはないが、相談いただく年齢の傾向としては、男性では70歳代が最も多く、次いで40代となっている。女性では40代が最も多く次いで50代となっている。昨年度と比較すると、男性は全く同じ傾向で70歳代・40歳代の順に多くなっている。女性は昨年度30歳代が最も多かったことに対し、今年度は40歳代が増え最多となっている。
- ・ こころの健康相談もこころの体温計についても、男性より女性の方が利用者数が多い傾向がある点で共通している。

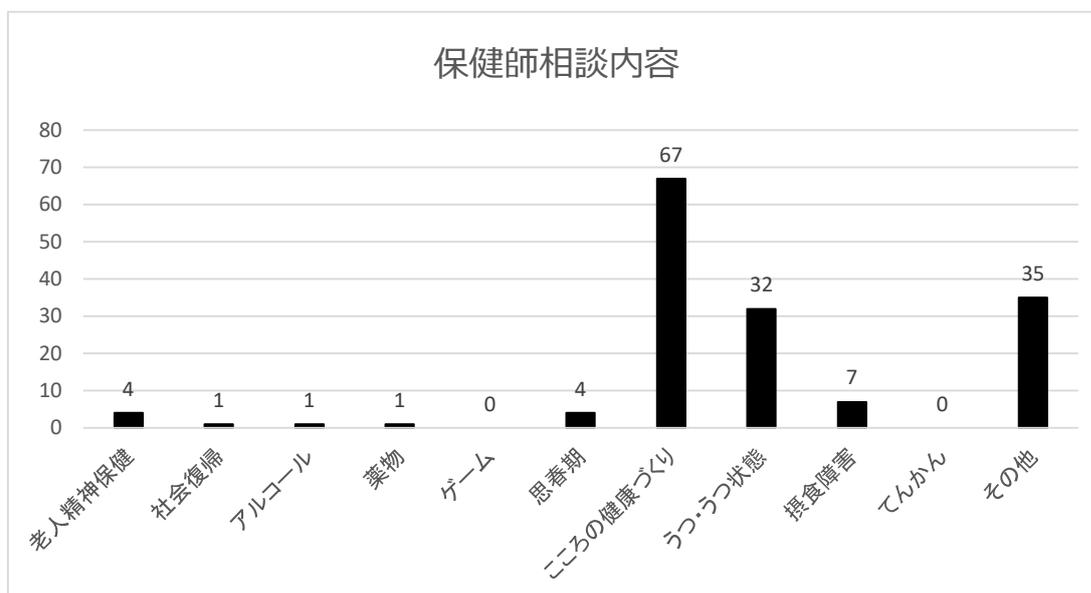
2-7. 保健センターによせられるメンタル関連の相談対応件数

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(※)
電話	279	377	443	355	150
面接	44	48	33	16	
訪問	94	171	120	30	
計(延)	417	596	596	401	150

保健師による相談対応件数も増加している。

※ R4年度については、R4.6月～9月までの件数を掲載（10/1現在）

2-8. 保健センターによせられるメンタル関連の電話相談内容(延)※ 重複あり (令和4年6月～令和4年9月まで)



・こころの健康づくり、うつ・うつ状態の順に多い。新型コロナウイルス感染症に関連した相談については、現在感染症の波が落ち着いてきたことに伴い、感染症に関連した相談は少なくなった印象がある。

・こころの健康相談、保健師による相談ともに、リピーターも多く、相談内容からも、思いつめた末の相談というよりも、気持ちのつまずきがあり誰かに話を聞いてもらいたいという段階でご相談いただいている印象を受けている。そのような傾向から、相談することへのハードルを下げることでいいのではないかと推測する。

2-9. 母と子の相談室(精神科医)相談件数

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(※)
対面相談	7	6	7	7	3
保健師からの相談	7	9	10	12	9

※ R4年度については、R4.4月～9月までの件数を掲載（10/1現在）

・母と子の相談室での相談を希望する方の来所相談は、例年件数としては横ばいであるが、保健師が相談を受けた中でより困難な事例に関して先生にスーパーバイズをいただく件数は年々増加しており、より複雑な相談が増えていると感じる。

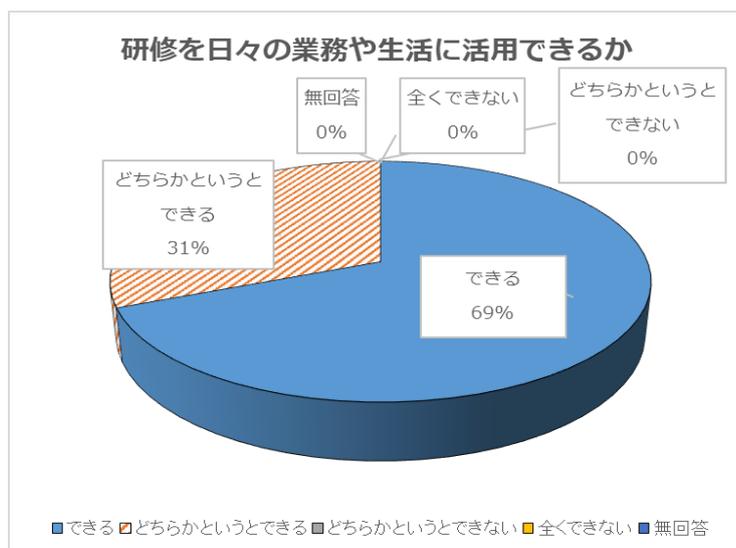
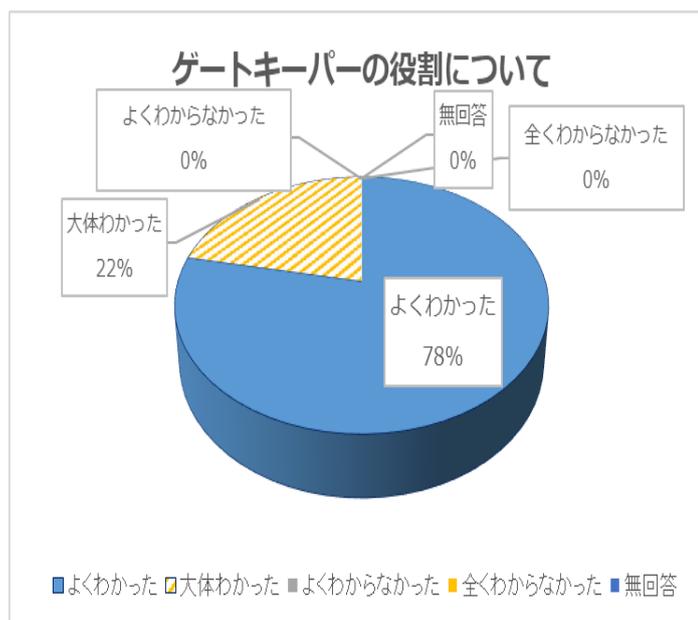
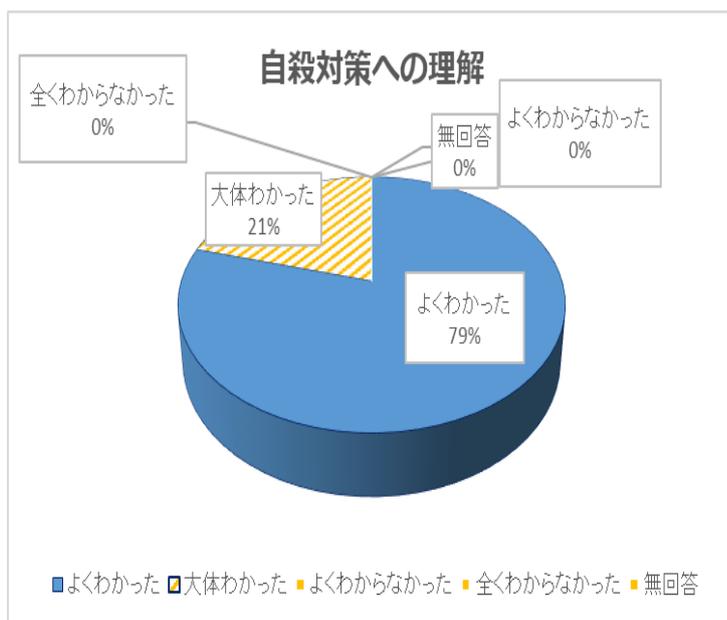
2-10. ゲートキーパー研修

○ 昨年度(令和3年度)のゲートキーパー研修実施状況

- ・市民 … 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、オンラインにて実施。
市公式YouTubeチャンネルにて、期間限定公開とした。(3部構成で総視聴数314回)
 - ・庁内 … 3課(計 202名/こども家庭支援課・地域支えあい課・人材育成課)に対し実施。
人材育成課(新規採用職員)のみ対面での研修とし、他2課に対しては動画視聴や資料閲覧による非対面型研修とした。
- ⇒ 自殺対策に対する理解が深まった人の割合は、市民・庁内ともに90%以上であった。
- ・その他、本課作成のゲートキーパーに関する啓発動画や、厚生労働省作成の啓発動画も併せて市公式ホームページに継続掲載している。

○ 令和4年度 庁内向けゲートキーパー研修 アンケート結果

人材育成課・新規採用職員 受講者数：91名（回収率：95.6%）



理解度や今後の活用見込み、いずれの項目に関しても理解できた活用できるといった前向きな回答で100%であった。

今後(今年度中)のゲートキーパー研修実施予定

- ・市民 … 外部講師による対面型研修を実施予定
- ・庁内 … 疾病予防課・多様性社会推進課

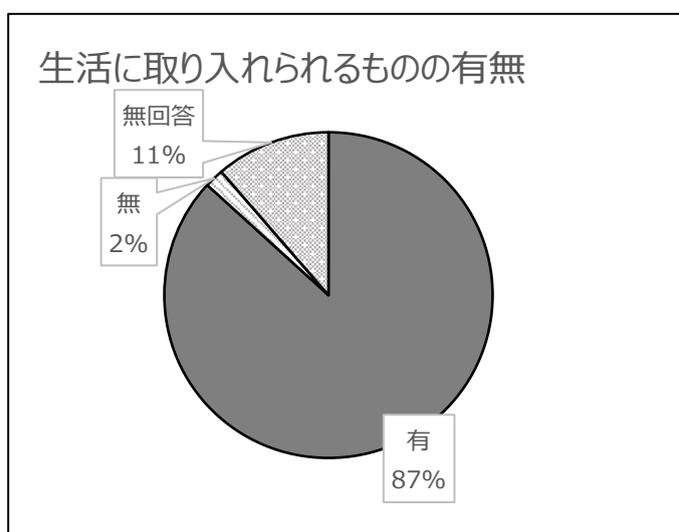
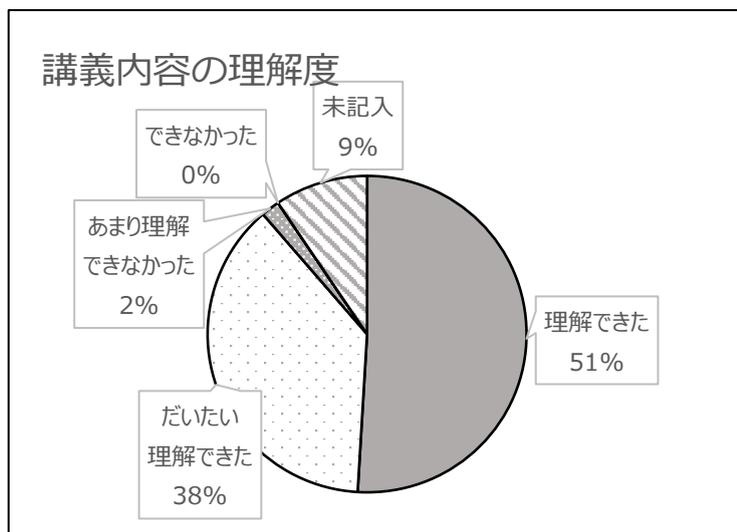
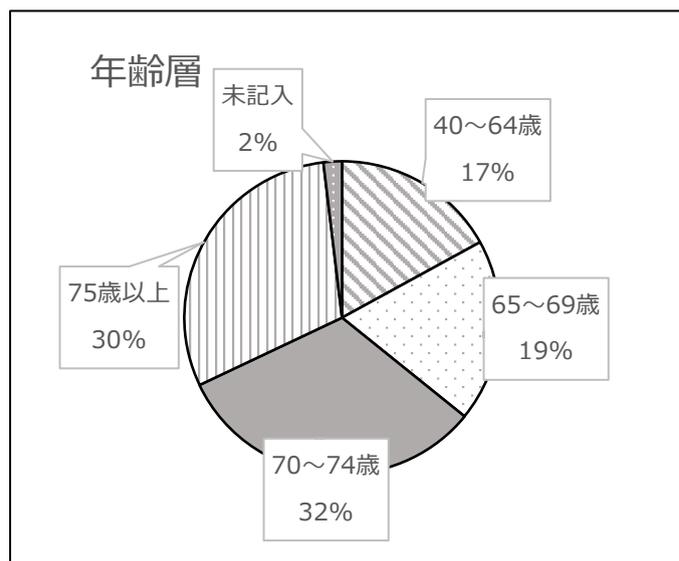
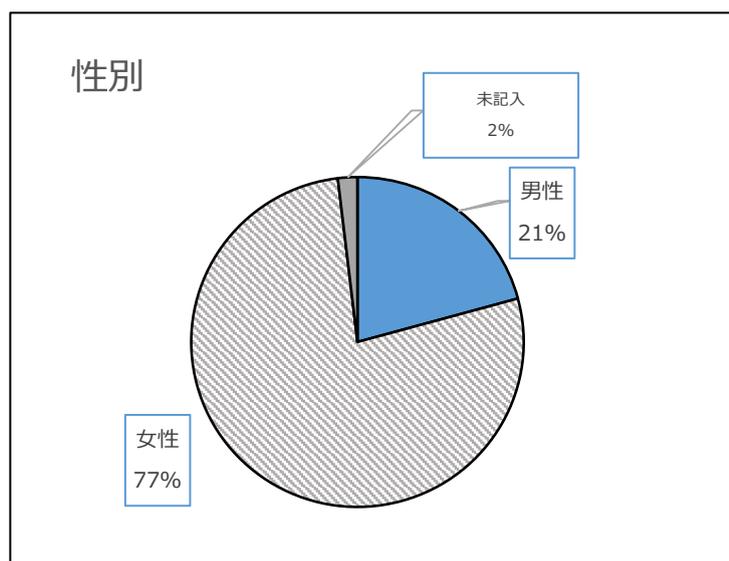
2-1 1. 令和4年度快適睡眠講座 アンケート集計結果

会場：全日警ホール

出席者 64名

回収数 53名

回収率 82.8%



講義内容の理解度、今後の生活に取り入れられるものの有無ともに、前向きな回答の割合がおよそ9割となった。

2-12. 数値目標に対する達成状況

〈基本施策1〉自殺対策を支える人材の育成

成果指標	評価方法	担当課	策定時(実績)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①ゲートキーパー研修 (市民向け)の参加者数	事業の目標値	健康支援課	120人見込	314人 (動画視聴数)	400人 (2019~2023年度 までの累計者数)	➡
②ゲートキーパーの認知度 の向上	市民アンケート	健康支援課	3.9%	※1 16.0%	3.9%以上	➡
③ゲートキーパー研修受講者 のうち「自殺対策に対する理解が 深まった」と回答した人の割合	ゲートキーパー研修 受講時のアンケート	健康支援課	———	100% (動画視聴者のうち任意回答 アンケートによる集計)	90%以上を維持	➡
④自殺は社会的な取組で防ぐ ことが出来る認識の向上	市民アンケート	健康支援課	41.7%	※1 58.3%	50%以上	➡
⑤健康教育でこころの健康に ついて周知した回数	実績	健康支援課	最低6回見込	7回 (コロナ禍による書面のみ の周知含む)	年間15回以上	➡

〈基本施策2〉市民への周知と啓発

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①睡眠で休養が十分にとれている 人の割合	市民アンケート	健康支援課	———	※1 68.2%	70%	➡
②メンタルヘルスチェック システム「こころの体温計」の 本人モードのアクセス数 (人数・延)	年間のアクセス数	健康支援課	19,214人(見込)	27,362人	年間2万人以上	➡

〈基本施策3〉若い世代に関する支援

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①若者のための相談ガイドの 配布数	実績	健康支援課	22,000部	21,198部	現状維持	➡
②悩みごとや困ったことなどが あったとき、誰かに相談する人 の割合	市民アンケート	健康支援課	59.7%	※1 67.0%	62%以上	➡
③市内公立小学校・中学校の 教員への相談カード配布数	実績	指導課	———	2,353	100%	➡

〈基本施策4〉生きることの促進要因への支援

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①うつの心配相談に来所した 人数(延)	事業実績	健康支援課	38人(見込)	※2 1,641人	年間40人	➡
②重複・頻回受診者への保健指導 実施達成率	事業実績	国民健康 保険課 (健康支援課)	———	100%	100%	➡
③あんしんホットダイヤルにおける メンタル・こころの相談件数	事業実績	疾病予防課	———	1,256件	現状維持	➡

〈基本施策5〉遺された人への支援

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①自死遺族相談の実施回数	事業実績	健康支援課	月1回	随時実施	現状維持	➡

〈基本施策6〉地域におけるネットワークの強化

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①「生きるを支える相談窓口一覧」配布数	実績	健康支援課	491部(見込)	112部	2,500部 (2019～2023年度 までの累計部数)	
②「生きるを支える相談窓口一覧」活用状況の確認回数	実績	健康支援課	————	0回	年間2回	

〈重点施策1〉壮年・中年・高齢者への自殺対策の推進

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①快適睡眠講座実施後に「睡眠とうつ病の関係」を理解できたか	事業アンケート	健康支援課	18.2%	————	20%以上 (2019～2023年度 までの平均回答)	————
②60歳代以上の市民アンケート回収率	市民アンケート	健康支援課	39.1%	————	45%以上	————
③70歳代以上のうつ病に関する3つのアンケート項目について「知っていた」と回答した人の割合	市民アンケート	健康支援課	69.7%	※1 87.9%	82.4%	

〈重点施策2〉若い世代への自殺対策の推進

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①相談カードの配布数	実績	健康支援課	4,500部(見込)	5,869部	年間4,500部	
②若年のためのうつの心配相談実施件数(延)	事業目標	健康支援課	29人(見込)	※2 240人	平成30年度 実績以上	
③若い世代の自殺の第1位が自殺という認識	市民アンケート	健康支援課	21.2%	※1 43.1%	平成30年度 実績以上	
④市の自殺対策に関する認知度	市民アンケート	健康支援課	6.6%	※1 17.5%	10%	
⑤厚生労働省のSNS相談窓口の紹介について市のSNS等による周知回数	実績	健康支援課	————	10回以上	年間4回以上	

〈重点施策3〉障がい者への自殺対策の推進

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①ゲートキーパー研修の実施回数(職員向け)	実績	健康支援課	1回予定	4回	10回以上 (2019～2023年度 までの累計回数)	
②ゲートキーパー研修(市民向け)の参加者数	事業の目標値	健康支援課	120人(見込)	314人 (動画視聴数)	400人 (2019～2023年度 までの累計者数)	
③精神疾患に関する相談に対応した数(延)※面接・電話・訪問を含む	実績	健康支援課	29件(見込)	2,042件	平成30年度 実績以上	
③障がい者相談支援事業 (相談対応、情報提供や助言、関係機関との連絡調整、権利擁護のための必要な援助を行う)	拠点数	障がい者支援課	3か所	3か所	3か所	

〈重点施策4〉転入者への自殺対策の推進

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①市川市民のテレホンガイド配布数	実績	健康支援課	18,500部(見込)	21,100部	現状維持	

〈重点施策5〉妊産婦への自殺対策の推進

成果指標	評価方法	担当課	実績(策定時)	現状値	目標値	評価
			2018年度 (平成30年度)	2021年度 (令和3年)	2023年度 (令和5年)	
①相談カードの配布数	実績	健康支援課	4,500部(見込)	5,869部	年間4,500部	
②母と子の相談室の実施回数	実績	健康支援課	年8回予定	8回	現状維持	

※1 2020年度実施の市民アンケートの結果をeモニアンケートの結果に置き換え、それを現状値(2021年度)の指標とした。

※2 令和2年度9月より相談事業を委託事業に移行し「こころの健康相談」として実施

こころの健康と自殺対策に関するアンケートのお願い

皆さまには、平素より本市の保健行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国では、平成 18 年 10 月に自殺対策基本法が施行されて以降、自殺者数は年々減少傾向にあります。いまだに年間 2 万人を超える事態は続いております。このような状況をふまえ、国では平成 28 年に自殺対策基本法を改正し、更なる自殺対策を推進しております。

本市におきましても「市川市自殺対策計画」を策定し、自殺対策に取り組んでまいりましたが、ピーク時の 100 人から減少はしているものの、近年 70 人前後の横ばい状況が続いております。

そこで、次期計画の策定にむけ、市民の皆さまの自殺対策に関するご意見をお伺いし、今後の自殺対策に取り組むための参考資料として活用させていただきたくことを目的に、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートは、18 歳以上の市民の方から 2000 人をコンピューター処理により無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、すべて統計的に処理いたしますので、皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。また、調査結果は調査の目的以外に利用されることはありません。

ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 4 月 市川市長 田中 甲

《ご記入にあたって》

- 1 この調査には、宛て名の方ご本人がお答えください。(回答の記入については代理の方でも結構です) ご記入は、鉛筆、黒のボールペンでお願いします。なお、お答えになりたくない設問については、無理にお答えいただかなくても結構です。
- 2 お答えは、選択肢の該当する数字に○をつけてください。また、「その他」など自由記載の欄にご記入ください。
- 3 この調査票は 月 日()までに、同封したアンケート返送用封筒(切手不要)に入れ、ご投函ください。なお封筒や調査票には、お名前やご住所などの個人情報を記載なさらないようお願いいたします。
- 4 この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

市川市 保健部 保健センター健康支援課 自殺予防対策担当

電話 047-377-4511

FAX 047-316-1568

問6 問4で悩みやストレスが「ある」と答えた方にうかがいます。悩みやストレスの対象となるものを3つ選び、番号を下欄にご記入ください。

1. 家族内の人間関係	2. 学校や職場の人間関係	3. 知人・友人との人間関係
4. 恋愛・結婚・離婚	5. 身近な人の死	6. 過重労働
7. 仕事（内容・環境・給与）	8. 失業・就職難（転職）	9. 家事
10. 収入・家計	11. 借金・ローン	12. 自分の身体的病気
13. 自分の精神的病気	14. 家族の健康不安・病気	15. 家族などの介護
16. 子育て（乳幼児）	17. 子育て（学齢以上）	18. 将来（自分・家族）
19. 政治・社会的な不安	20. 原因がわからない	
21. その他（		）



1. 最もストレスを感じるもの（	）
2. 2番目にストレスを感じるもの（	）
3. 3番目にストレスを感じるもの（	）

問7 あなたは、今までに死にたいと思いつめるほど悩んだことがありますか。

1. ある	2. ない	3. 答えたくない・わからない
-------	-------	-----------------

問8 悩みごとや困ったことなどがあつたとき、誰かに相談していますか。

1. 相談している(→問9へ)	2. 相談していない(→問10へ)
-----------------	-------------------

問9 問8で「相談している」と答えた方にうかがいます。

[1]どなたに相談しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族	2. 親戚	3. 友人	4. 近所の人	5. 職場の同僚・上司・部下	6. 病院
7. 相談窓口	8. その他（				）

[2]どのように相談しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 会って話す	2. 電話で話す	
③ インターネット、SNS、メールなど	4. その他（	）

問10 問8で「相談していない」と答えた方にうかがいます。それはなぜですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. プライバシーが守られるか不安	2. 話したくない内容を聞かれるのではないか	
3. 上手く話せないのではないか	4. 逆に責められるのではないか	
5. 面倒くさい・おっくうだ	6. 恥ずかしい	
7. 自分で解決できると思う	8. 相談する人がいない	
9. その他（		）

問11 うつ病について、以下のことを知っていますか。

[1] 誰もがかかる可能性のある病気である。

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

〔2〕 うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係がある。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

〔3〕 薬の治療とともに、ゆっくり休養することが必要である。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問12 自殺対策について以下のことを知っていますか。

わが国の自殺者数はピーク時3万4千人超(H15年10万人あたり約27人)でしたが、近年2万1千人弱に減少(R3年10万人あたり約17人)してきていることを知っていましたか。(警察庁自殺統計より)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問13 自殺は社会的な取り組みで防ぐことができますか。

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
|---------|-----------|----------|

問14 市川市が自殺対策に取り組んでいることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問15 これからの自殺対策として大切なものはどのようなことだと思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|-------------------------|---------------|
| 1. 相談窓口のわかりやすさ | 2. 総合的な電話相談 | 3. 24時間対応の相談 |
| 4. うつの専門相談窓口の設置 | 5. 中高年男性のための健康相談 | 6. 女性のための健康相談 |
| 7. 多重債務相談 | 8. 自死遺族(家族を自殺でなくされた方)相談 | |
| 9. 失業対策・雇用の確保 | 10. かかりつけ医の目配り | |
| 11. 自殺予防に関する講演会の実施 | 12. 広報での呼びかけ | 13. 啓発ポスターの掲示 |
| 14. 若い年齢層からの「いのちの教育」 | 15. ストレス対処法の学習会 | |
| 16. 適正な飲酒に対する啓発 | 17. 保健師や民生委員などによる戸別訪問 | |
| 18. 高齢者対象の生きがい事業の促進 | 19. その他() | |

問16 あなたご自身が、自殺対策に対してどのようなことができますか。

(例：身近に悩んでいそうな人がいたら、声をかける)

問17 「ゲートキーパー」を知っていますか。

- | | | |
|----------|-------------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるが具体的なことは知らない | 3. 知らない |
|----------|-------------------------|---------|

※自殺予防に関する「ゲートキーパー」とは…(厚生労働省 HP より引用)

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援に繋げ、見守る)を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです

問18 「自殺予防週間」(9月10～16日)や、「自殺対策強化月間」(3月)を知っていますか？

- | | | |
|----------|-------------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるが具体的なことは知らない | 3. 知らない |
|----------|-------------------------|---------|

